



2022年2月14日

各 位

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
株式会社クロス・マーケティンググループ
代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
(コード番号：3675 東証一部)
問合せ先 取締役CFO 小野塚 浩二
(TEL. 03-6859-2250)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年8月12日に公表した2022年6月期の通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2022年6月期 通期連結業績予想 (2022年7月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	23,051	1,903	1,850	1,101	56.20
今回発表予想 (B)	23,500 ～24,000	2,200 ～2,400	2,100 ～2,300	1,350 ～1,450	67.60 ～72.61
増減額 (B-A)	449 ～949	297 497	250 ～450	249 ～349	—
増減率 (%)	1.9 ～4.1	15.6 ～26.1	13.5 ～24.3	22.6 ～31.7	—
(参考)前期連結実績 2021年6月期通期 (2021年1月～6月)	10,758	1,007	1,048	540	27.50

2. 連結業績予想修正の理由

2022年6月期第2四半期(2021年7月1日～12月31日)において、連結子会社のドゥ・ハウスやディーンアンドエムの好調を主因にデジタルマーケティング事業売上高が上振れたほか、新型コロナウイルス感染拡大影響に鑑み保守的な前提としていたデータマーケティング事業における海外子会社の売上高回復が想定以上だったこと等から、全てのセグメントで売上高が期初想定を上回りました。

上述の増収効果に加え、売上高総利益率の高いオンラインサービスが拡大したこと、販売費および一般管理費を中心としたコスト投下の最適化を推し進めたこと、等により売上高総利益率並びに営業利益率がそれぞれ期初想定を上回りました。

2022年6月期第3四半期以降についても、主力のデジタルマーケティング事業を中心に連結業績は好調に推移すると見込んでおります。

一方、とりわけ第4四半期は他四半期と比較して収益が積み上がりにくい閑散期に当たるほか、来期以降の成長に向けた投資の加速、依然として不透明な新型コロナウイルス感染拡大の状況、来期以降の成長に向けた投資の加速等を考慮した結果、現時点での見通しとして当社が合理的と判断するレンジを持たせた業績予想を開示することにいたしました。

尚、2022年6月期第3四半期累計期間の業績予想見通しとして、売上高が180～185億円、営業利益が22～24億円、経常利益が21～23億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が13.5～14.5億円になるものと見込んでおります。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上